

瀬部小だより 12月号

平成16年12月6日



1 総合的学習発表会・・・生き生きと 自信に満ちた 発表会

11月22日(土)に総合的な学習発表会が行われました。

子どもたちの自信に満ちた発表を見ていると良くがんばったなと思いました。子どもたちの自慢げな顔が心に残っています。また、子どもたちと一緒にあって、陰で支えた担任の満足そうな姿が見られました。そして、忘れてはならないのが、家庭で励ましてくださった保護者の方々、さらには、地域で応援してくださった皆様です。心より御礼申し上げます。まさに、家庭・校・地域の三者で子どもの教育はできるのだとつくづく思いました。ありがとうございました。



なお、当日のアンケートには、週休2日といっても、土曜日休めない人のために「できれば、日曜日に開催を」「兄弟がいる場合の発表時間の工夫ができないものか」等のご意見がありました。今後検討をしていきたいと思えます。

2 ウェルカム・トラブル・・・トラブル歓迎？



校長会広報(657号)のコラム欄に次のような記事がありました。春日井市立知多中学校長の岡部愛子先生は、今話題の弁護士中坊公平氏の新聞のコラムに心を動かされます。「トラブルに巻き込まれると、人は憂鬱になり、不幸に陥った」と考えます。「最も悪い対応はトラブルに陥ったことを愚痴り、周囲に責任を転嫁するなどしてトラブルからの逃避を図る」というのです。しかし、「トラブルとは物事の『裂け目』である。普通の状態でなら見えなかった物事の本質、真実がはじめて見える瞬間なのである。この意味でトラブルに遭遇することは本質や真実を知る絶好のチャンスなのだ」という言葉が心に残ります。

できれば、トラブルは避けたい、逃げたいと誰でも思うものです。あれが悪い、これが悪いと誰かに責任をなすりつけていても何も進展しません。残念なことに、逃げることはできないのが世の常のようです。だったら、開き直って、「もめごとやいざこざの問題の発生(トラブル)は、歓迎(ウェルカム)だ」という気概で、子どもたちの幸せのために、誠実に解決を図って行こうと思っております。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

3 成績と子どもたち・・・個人懇談会「12月14日(火)～16日(木)」

個人懇談会が始まります。「あそこの家の子どもは、できるからいいけれど、うちの子は・・・」と思うと懇談会が悩みだと思われる方もみえると思います。

子どもをどのように伸ばしていくとよいのかを、担任と一緒に考えるのが懇談会です。担任からの学校での様子を聞かれるとともに家庭での様子をお聞かせください。どうすれば、子どもを支援することができるかを考えあう場です。ともに悩みながら、話し合いたいと思います。本当に悩んでいるのは、子どもたちなのですから。子どもに寄り添った指導の糸口を探って行きたいと思います。



学習は確かに学校教育のほとんどを占めていますから、学習成績についての話が中心となることは仕方ありません。しかしながら、学習成績はあくまでも結果です。この結果をもとにどのように伸ばせばよいのかを考えあいたいと思います。

本当は、「学習をしよう」とする「やる気や心を育てる」ことが大切なのです。歴史上の人物を見ても、学習成績が優秀な人よりも、心の徳性のある人の方が歴史を動かしてきています。生きる力をもっている人が大きく世の中を変えてきているのです。困難があっても動じない心を持った子に育てていくことが大切なのです。苦しいことを乗り越えていく情熱を持った子どもを育てていきたいと思います。勉強もその一つの試練?と捉えて、世界でたった一人の個性ある子どもを、褒めて励まし、明るく、前向きに、援助していききたいと思います。

4 名札の着用について・・・12月6日(月)より学校内のみで着用



不審者対策の一環として、PTAの実行委員会で名札着用は、校内のみでとの提案をいただきました。本校の職員で検討した結果、12月6日より実施することにしました。子どもたちの安全・安心について共々に考え合って行きたいと思います。なお、低学年では、安全ピンの付け外しが難しいようです。ご家庭でも安全ピンの扱い方についてご指導いただきますようお願いいたします。

5 ご意見・感想などがございましたらお寄せください。

